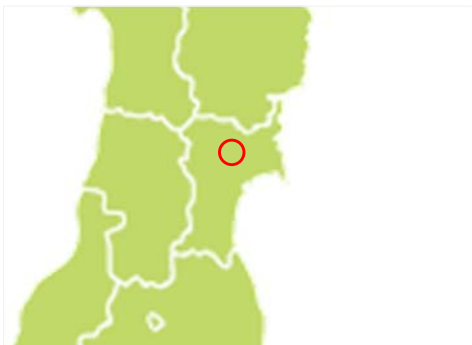


対象地域：宮城県

再生課題：湿地環境の保全と治水機能の維持



かぶくりぬまっこくらぶ

特定非営利活動法人 蕪栗ぬまっこくらぶ

再生
目標

蕪栗沼及びその周辺における野生生物と治水機能の共生

- 事務局
NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ
- 対象地域
宮城県大崎市 蕪栗沼周辺
- 活動開始：H12. 12. 10
- 活動計画：H12. 7. 31
(R4. 2現在)



蕪栗沼は、マコモやヨシが繁茂する面積約150haの低地性湿地で、国の天然記念物に指定されているマガンの国内有数の越冬地です。台風災害をきっかけに、周辺の水田とともに遊水地として整備され、洪水調整機能を果たしていますが、遊水地を管理する上での野生生物に配慮する指針がありませんでした。

そこで、環境と治水の調和を目指し、地域住民や農業者、環境保全団体が協力して湿地環境の保全に努めるための計画を策定し、湿地の陸地化（ヨシの堆積）防止や希少動植物の保全、ガン類の一極集中の緩和等に取り組んでいます。現在では、オオヒシクイやオジロワシ等の天然記念物、オオタカやチュウヒ等の絶滅危惧種を含む約200種の鳥類が観察されており、その重要性からラムサール条約湿地に指定されています。



マガン

自然再生の手法

- 水位調整、陸地化防止
- 希少動植物の保護増殖
- 侵略的外来種の駆除
- 湿地環境の拡大、保全（ヨシ刈り等）
- モニタリング調査
- エコツアー、環境教育の実施

ここに注目！

希少動植物の生息地拡大のための取組

沼周辺の水田は、1610年頃の干拓事業により整備されましたが、一部の水田が国に返還されたことを受け、水田から湿地へ復元する取組を行いました。また、ヨシの堆積が問題となっていた場所では、ヨシ刈りを行う等、希少動植物の生息地の拡大に努めています。マガンの生態調査研究により、生息地の拡大や食害防止等、農業との共生を図る提言も行いながら取り組んでいます。



ヨシ刈り